

ク・パラリンピックが開催されます。本町では、オリンピック開催に伴う聖火リレーを5月18日に実施することとなっており、坂中学校の生徒2名を含む複数のランナーが聖火を持って駆け抜けることで、豪雨災害で被災された方々に元気を届けていただき、復興に向かって頑張っている坂町を広くアピールしていきます。

○町制施行70周年

本年度は、町制施行70周年という節目の年であることから、現在、町民センターに展示保存している六角御輿を坂町音頭とともに5月に開催される「ひろしまフラワーフェスティバル」のパレードに出場することとしています。昔と同様に、中学生が御輿を担ぐことによって伝統を復活させ、後世に引き継いでいくことにより、郷土への誇りや愛着といった郷土愛が醸成されるものと考えています。

さらに、国民的人気番組である「NHKのご自慢」がSunstar Hallで開催されることとが決定しました。

町民の皆様には、70周年記念事業への参加や観覧について、ご協力をお願いします。

○海外研修の実施

外国の文化や言語を学ぶとともに、ホームステイ体験、現地の人との交流を通じて、国際的な視野及び知識を身につけた幅広い活動ができる人材の育成を目指し、中学生を対象とした海外研修を実施します。

6 活気と活力を創造する魅力づくり

坂町の豊かな自然、歴史的・文化的な地域資源、地理的条件などを活かしたまちづくりを進めるとともに、人々が気軽に自然に接し体験できるよう、観光・レクリエーション施設の整備と利用を促進していきます。

○特産品の研究・開発

町木である梅の推奨とともに、本町の特色を活かし多くの人に愛される特産品の開発を進めていきます。

また、本町のムラサキ麦を原材料としたビールの生産・販売が行われており、引き続き、ビールの増産に向け、原材料の確保を進めるなど、地域資源を通じて元気な坂町を目指していきます。

○ベイサイドビーチ坂の賑わい創出

西日本最大級の人工海浜であるベイサイドビーチ坂については、坂町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、年間を通じた賑わいの創出と交流人口の増加を図るため、ビーチでの各種イベントの支援や、物販施設の整備について、関係機関との協議を進め、実現に向け取り組んでいきます。

また、海水浴シーズンにおける国道の渋滞緩和、利用者の安全対策を図る横断歩道橋や情報伝達施設などの整備について進めているところであり、引き続き早期完成に向けて県などの関係機関へ働きかけていきます。

7 明日を拓く協働のまちづくり

町民と行政がそれぞれの役割を認識し、自主性・自立性を高めながら個性豊かな地域社会を形成するため、町民と行政が主体性を持ち、連帯意識を支えられた、協働のまちづくりを推進していきます。

地域の連帯感に支えられた住民みよい地域社会を形成するため、坂町社会福祉協議会と連携

し、地区住民福祉協議会等の自主的な活動を支援しながら、自発的で幅広い参加による活動を推進していきます。

○広報活動

広報活動については、豪雨災害からの復興に向けての取り組みや町制施行70周年記念事業、町民の皆様が元気になるイベント情報、町外の方が、坂町を知り、訪れたいかなるような、町の魅力発信に、より一層取り組んでいきます。

○「坂 うめじろう」のグッズ制作

昨年度、着ぐるみを制作した公式マスコットキャラクター「坂 うめじろう」を町内外の各種イベントに出演させるとともに、キャラクターグッズを制作するなど坂町を多くの人に知ってもらうための取り組みを行っています。



◆おわりに

令和の時代になり最初の施政方針の大綱を申し上げますが、平成30年7月豪雨災害から一日も早い生活再建、復旧・復興を必ずや成し遂げるために、高い次元の志を持って取り組みとともに、未来に向け、希望を抱ける行財政運営を行いたいと考えています。

町政の基本理念は、町民一人一人が健康に恵まれ、安全で快適な生活環境の中で、活力と生きがいのある生活を営むことができる地域社会を形成することであると私は考えています。

このような社会を実現するため、町民の皆様をはじめ、各方面からのご意見に耳を傾け、何を求めておられるかを的確に判断し、その実現のため、今後あらゆる創意と工夫のもとに、地に足が着いた施策を着実に推進してまいります。

議会の皆様をはじめ、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

教育行政方針

◆はじめに

近年、知識・技能や情報をめぐる変化の速さが加速度的に進み、情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて進展するようになっています。進化した人工知能が様々な判断を行ったり、身近な物の働きがインターネット経由で最適化されたりする時代の到来が、社会や生活を大きく変えていくとの予測がなされています。

将来の変化を予測することが困難な時代を前に、子供たちは、社会の変化を受け身で対処するのではなく、現在と未来に向けて、一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、自らの人生を切り拓き、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していく力が求められています。

また、人生100年時代、超スマート社会 ※Society5.0 (ソサエティ5.0) に向けて社会が大きな転換点を迎える中、その重要性は一層高まっており、町民一人一人が生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様

な学習機会の提供等、生涯学習の理念を踏まえた総合的な教育政策の推進が重要となっています。

これらのことから坂町教育委員会では、「町長施政方針」及び「坂町長期総合計画」等に基づき、また「総合教育会議」の趣旨を踏まえ、町長部局と一体となつて、効果的な教育行政を推進していきます。

以下、「町長施政方針」の「5 夢や希望を育み、絆をつくる人づくり」の内容に従い、本年度の基本方針について説明します。

※Society5.0 (ソサエティ5.0)

内閣府から、我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱した、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会

【学校教育】

○「礼節」を基本とした教育の推進

自らを律しつつ他者と協調し、思いやりや感動する心を育み、未来に向けて自らの人生を切り拓いていくことのできる児童生徒の育成を目指します。とりわけ、時と場所、場合に応じた適切な挨拶や言葉遣いのできる「礼儀」や、自分自身の立場をわきまえ、よく考えて行動し、生活することのできる「節度」を「学びの礎」としてとらえ、全ての教育活動を通して「礼節」を基本とした教育を推進します。

○確かな学力の向上

これからの社会を主体的・創造的に生き抜いていくために、児童生徒一人一人に基礎的・基本的な内容の定着を図り、自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成します。

このため、「主体的・対話的で深い学び」の視点を立った授業改善を進めるとともに、個に応じたきめ細かな指導に努め、学校教育における質の高い学びの実現を目指します。

また、グローバル化が進展する中で英語力の必要性は高まっております、英語教育においては、

その基礎的・基本的な知識・技能とそれらを活用して主体的に課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の向上を目指します。

○体力・運動能力の向上

体力は人間の発達・成長を支え、創造的な活動をするために大切な役割を果たすことから、将来を担う児童生徒の体力を向上させることは、坂町の未来の発展のためにも重要であると考へます。

今後、各学校の実態を踏まえ、「体力づくり改善計画」を作成し、体育・保健体育の授業をはじめ、学校教育活動全体を通して、体力・運動能力のさらなる向上に努めます。

○防災教育の推進

平成30年7月豪雨災害の経験や教訓を生かした防災教育を推進し、生涯にわたる防災対応能力の基礎を育成するとともに、復興に向けて心身ともにたくましく生き抜く力を育む防災教育を推進します。

具体的には、各教科、総合的な学習の時間、特別活動等の教育活動全体を通して、自然災害についての理解を深め、災害時

に的確な思考・判断に基づく適切な意志決定や行動選択ができる力を育成し、自他の生命を尊重する心を育て、学校・家庭・地域の安全活動に進んで参加・協力を貢献できるような資質や能力を養います。

○特別支援教育の推進

児童生徒の自立と社会参加を一層推進していくために、児童生徒一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、ユニバーサルデザインに配慮した教育環境を充実させるとともに、適切な指導や支援を行います。

このため、各学校で「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成し、効果的に活用するとともに、特別支援教育コーディネーターを中心に校内体制を整え、関係機関等との連携を積極的に進め、研修の充実や指導内容、指導方法の改善を進めます。

○情報教育の推進

急速に情報化が進展する社会の中で、情報や情報手段を主体的に選択し活用していくために必要な情報活用能力が求められる一方で、スマートフォンやソーシャル・ネットワーキン